

AsReader

AsBrowser アプリケーション 操作説明書

目 次

1	メイン画面	3
1.1	ホーム	3
1.2	再読み込み	4
1.3	タブ	4
1.4	「<」ボタン	4
1.5	「>」ボタン	4
1.6	設定ボタン	5
1.7	ブックマーク登録ボタン	5
1.8	ブックマーク一覧ボタン	5
1.9	ホーム画面に追加ボタン	6
2	設定画面	8
2.1	情報	8
2.1.1	バージョン	8
2.1.2	ライセンス	9
2.2	AsReader 設定	9
2.2.1	ASR-A24D 設定	9
2.2.1.1	ビープ音	10
2.2.1.2	バイブレーション	10
2.2.1.3	スリープ時間	11
2.2.2	AsCameraX 設定	12
2.2.2.1	スキャンボタンの表示	12
2.2.2.1.1	カメラへのアクセスを許可	13
2.2.2.1.2	すべてのファイルへのアクセスを許可	14
2.2.2.1.3	ライセンス認証	14
2.2.2.2	スキャンボタンの表示位置を固定化	15
2.2.2.3	読取バーコード設定	16
2.2.2.4	エンコード	17
2.2.2.5	バーコード領域の表示	18
2.2.2.6	ビープ音	19
2.2.2.7	バイブレーション	19
2.2.2.8	ズーム	19
2.2.2.9	フォーカス	20
2.3	App 設定	21
2.3.1	接続先 URL	21
2.3.2	タイムアウト	22
2.3.3	App のスキャン音 設定	23
2.3.3.1	スキャン音	23
2.3.3.2	カスタム音	24
2.3.3.3	カスタムバイブレーション	24
2.3.3.4	通知音設定	25
2.3.4	AsReader バッテリー残量表示	25
2.3.5	ナビゲーションバー	26
2.3.6	ホームボタン設定	26
2.3.7	リフレッシュボタン設定	27
2.3.7	ブックマーク	27
2.3.8	ボタンで戻る・進む	27
2.3.9	キャッシュクリア	28
2.3.10	Launch Mode	29
2.3.11	AsReader スキャンボタン	30

2.3.12 ユーザーエージェント	31
2.4 読取に関する設定	32
2.4.1 読取時に古い入力値を上書き	32
2.4.2 readonly 属性を無視	34
2.4.3 Tab 読取で次項目へ移動	34
2.4.4 読取後の機能	35
3 タブ画面	37
3.1 新しいタブを追加する	37
3.2 タブを削除する	38
4 ブックマーク登録画面	39
4.1 登録名を編集する	39
4.2 ブックマークを登録する	39
5 ブックマーク一覧画面	40
5.1 登録されたブックマークをメイン画面に表示する	40
5.2 ブックマークの登録名を編集する	40
5.2.1 ブックマーク編集画面	41
5.3 ブックマークを削除する	41
6 カメラ画面	42
6.1 「<」ボタン	42
6.2 フラッシュボタン	43
6.3 解像度切り替えボタン	43
7 通信仕様	44
7.1 AsReader スキャンボタン	44
7.2 設定画面の開いた/閉じたの通知	44
7.3 カスタム音	45
7.4 カスタムバイブレーション	45
7.5 カメラ画面の表示/非表示の制御	45

1 メイン画面

アプリを立ち上げると最初に表示される画面です。

設定画面の接続先 URL に設定されている URL のページが表示されます。



図 1-1 メイン画面

1.1 ホーム

押下すると、設定画面の接続先 URL に設定されている URL のページを読み込み、表示します。

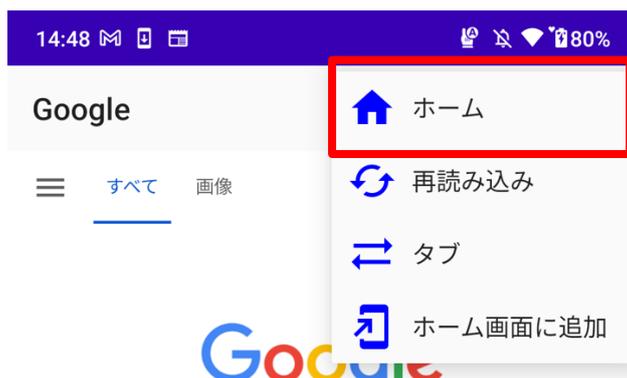


図 1-1-1 ホーム

1.2 再読み込み

押下すると、表示されているページの再読み込みを実行します。



図 1-2-1 再読み込み

1.3 タブ

押下すると、タブ画面に遷移します。(詳細は「3 タブ画面」参照)



図 1-3-1 タブ

1.4 「<」ボタン

押下すると、前ページに戻ります。
前ページに戻る事ができる場合のみ、ボタンが有効化されます。



図 1-4-1 「<」ボタン

1.5 「>」ボタン

押下すると、次ページに進みます。
次ページに進む事ができる場合のみ、ボタンが有効化されます。



図 1-5-1 「>」ボタン

1.6 設定ボタン

押下すると、設定画面に遷移します。



図 1-6-1 設定ボタン

1.7 ブックマーク登録ボタン

押下すると、ブックマーク登録画面に遷移します。(詳細は「4 ブックマーク登録画面」参照)



図 1-7-1 ブックマーク登録ボタン

1.8 ブックマーク一覧ボタン

押下すると、ブックマーク一覧画面に遷移します。(詳細は「5 ブックマーク一覧画面」参照)



図 1-8-1 ブックマーク一覧ボタン

1.9 ホーム画面に追加ボタン

押下すると、端末のホーム画面に、現在表示している Web ページを初期表示するアイコンを追加することができます。



図 1-9-1 ホーム画面に追加

押下すると、下図のようなポップアップが表示され、追加するアイコンの名前を設定することができます。

※アイコンには、Web ページのアイコン(ファビコン)が使われます。



図 1-9-2 ホーム画面に追加ポップアップ

ポップアップで追加を押下すると、下図のような画面が表示されます。

※下記画面は DignoSX2 Android12 の端末での画面です。機種やバージョンによって画面は異なることがあります。



図 1-9-3 ホーム画面に追加画面

AsReader

先ほどの画面でホーム画面に追加を押下すると、自動的に端末のホーム画面にアイコンが追加されます。

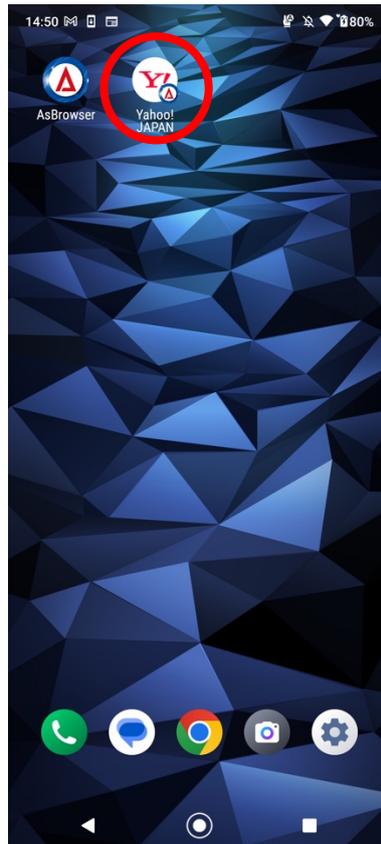


図 1-9-4 ホーム画面

2 設定画面

本アプリに関する各種設定ができる画面です。



図 2-1 設定画面

2.1 情報



図 2-1-1 情報

2.1.1 バージョン

タップすると、App 及び対応している AsReader のバージョン情報を表示する画面に遷移します。

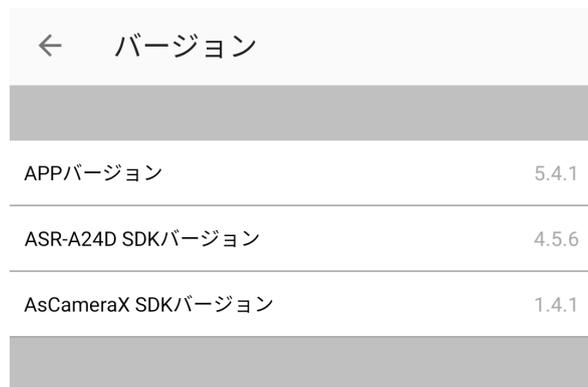


図 2-1-1-1 バージョン画面

2.1.2 ライセンス

タップすると、本アプリで使用しているライブラリのライセンスを一覧表示する画面に遷移します。

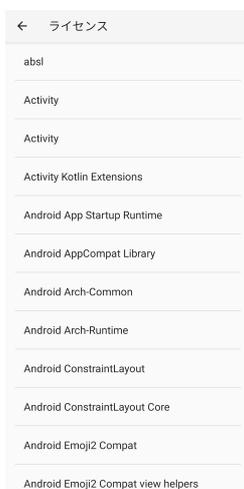


図 2-1-2-1 ライセンス画面

2.2 AsReader 設定



図 2-2-1 AsReader 設定

2.2.1 ASR-A24D 設定



図 2-2-1-1 ASR-A24D 設定

タップすると ASR-A24D 設定画面に遷移します。



図 2-2-1-2 ASR-A24D 設定画面

2.2.1.1 ビープ音

初期値: On

Onにする場合、ASR-A24D でスキャンした際に ASR-A24D からビープ音が鳴ります。

Offにする場合、ASR-A24D でスキャンした際に ASR-A24D からビープ音が鳴りません。

ビープ音 

図 2-2-1-1-1 ビープ音

2.2.1.2 バイブレーション

初期値: On

Onにする場合、ASR-A24D でスキャンした際に ASR-A24D が振動します。

Offにする場合、ASR-A24D でスキャンした際に ASR-A24D が振動しません。

バイブレーション 

図 2-2-1-2-1 バイブレーション

2.2.1.3 スリープ時間

初期値:5分

タップすると、スリープ時間設定画面に遷移します。

設定した時間の間 ASR-A24D を使用しなければ、自動的に ASR-A24D がスリープ状態となります。

選択リスト:5分、10分、30分、60分、120分、スリープしない



図 2-2-1-3-1 スリープ時間

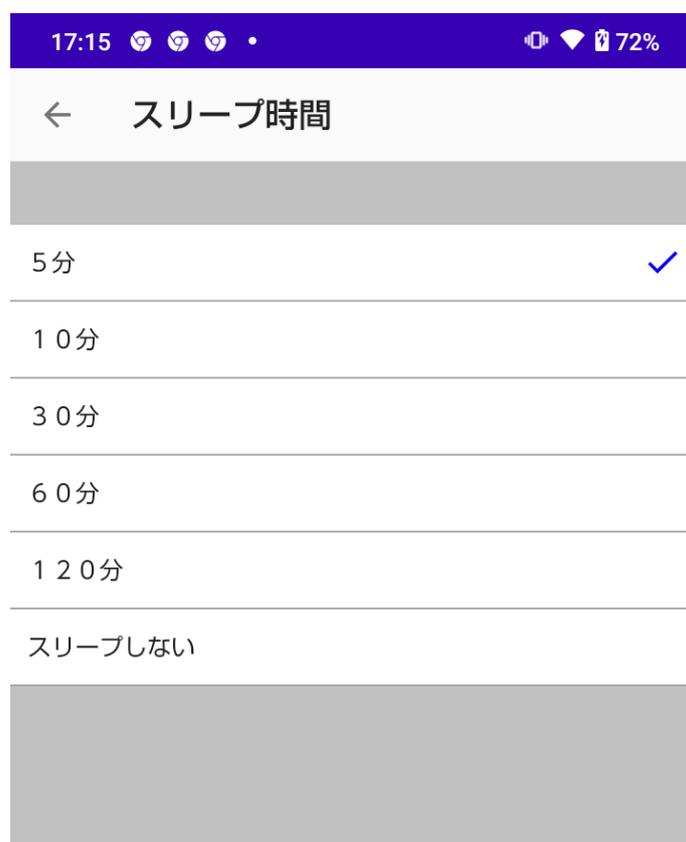


図 2-2-1-3-2 スリープ時間設定画面

AsCameraX 設定



図 2-2-2-1 AsCameraX 設定

タップすると AsCameraX 設定画面に遷移します。



図 2-2-2-2 AsCameraX 設定画面

2.2.2.1 スキャンボタンの表示

初期値: Off

On にする場合、メイン画面にスキャンボタンが表示されます。

Off にする場合、メイン画面にスキャンボタンが表示されません。

スキャンボタンの表示



図 2-2-2-1-1 スキャンボタンの表示

On にするとカメラでの読み取りができるようになりますが、実際に読取するためには

- ・ 「AsLicenseBiz2」のインストールと AsCameraX 用ライセンスのアクティベート※1
- ・ 次項以降に記載する権限の許可※2

が必要になります。

※1 「AsLicenseBiz2」の使用方法については、専用のマニュアルをご確認ください。

※2 初回のみ許可が必要です。以降は許可されたことが保存されますので、そのままカメラで読取が可能です。

2.2.2.1.1 カメラへのアクセスを許可

「スキャンボタンの表示」を On にして、初めてメイン画面を表示すると以下のメッセージが表示されます。左図の通り。

「アプリの使用時のみ」もしくは「今回のみ」を選択すると、続いて電話の権限の許諾確認のメッセージが表示されます。右図の通り。

どちらの権限も許可すると AsCameraX の使用ができます。



図 2-2-2-1-1-1 カメラへのアクセス許可 / 電話へのアクセス許可

「許可しない」を選択する場合、下図の通りメッセージが表示され、AsCameraX が使用できません。

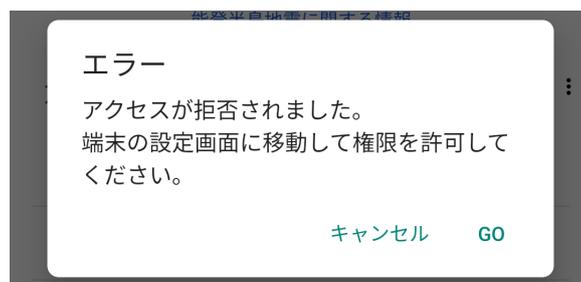


図 2-2-2-1-1-2 カメラアクセスエラーダイアログ

Go を選択すると端末の設定画面が立ち上がり、AsBrowser のページが表示されますので、権限の許可を設定してください。

2.2.2.1.2 すべてのファイルへのアクセスを許可

前項の権限を許可すると、続いて以下のメッセージが表示されます。

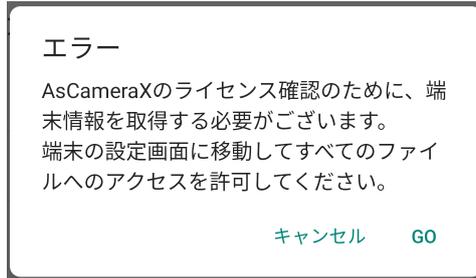


図 2-2-2-1-2-1 すべてのファイルへのアクセスのエラーダイアログ

Go を選択すると端末の設定画面が立ち上がり、すべてのファイルへのアクセスの設定画面が表示されますので、AsBrowser の項目を選択し、権限の許可を設定してください

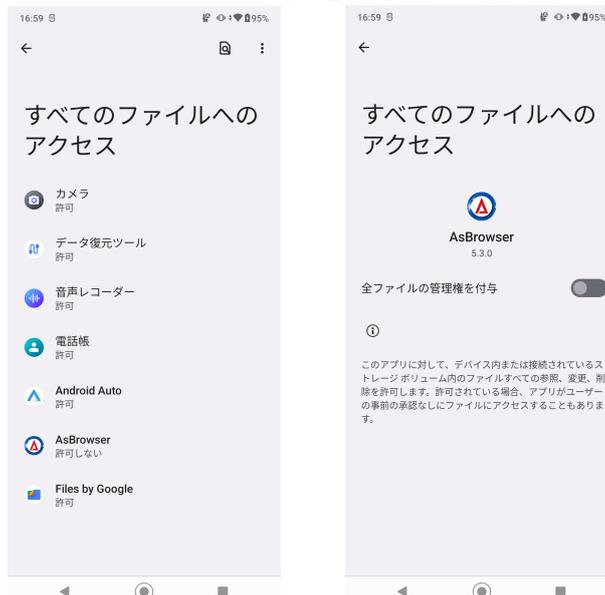


図 2-2-2-1-2-2 すべてのファイルへのアクセスの設定画面

2.2.2.1.3 ライセンス認証

前項の権限を全て許可した状態でスキャンボタンを押下 or メイン画面に遷移すると以下のメッセージが表示されます。

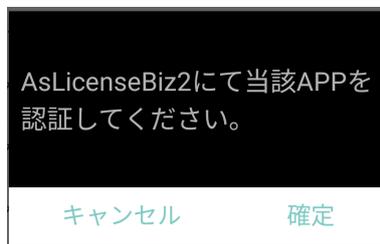


図 2-2-2-1-3-1 ライセンス認証のポップアップ

確定を選択するとライセンス認証のため「AsLicenseBiz2」が自動的に起動し認証処理が行います。再び AsBrowser に戻ってきた時、認証エラーが表示されなければカメラの利用が可能になります。

2.2.2.2 スキャンボタンの表示位置を固定化

初期値: On

On にする場合、メイン画面のスキャンボタンが画面下部に表示されます。移動不可。

Off にする場合、メイン画面にスキャンボタンが表示されます。自由にボタンを移動できます。

スキャンボタンの表示位置を固定化



図 2-2-2-2-1 スキャンボタンの表示位置を固定化

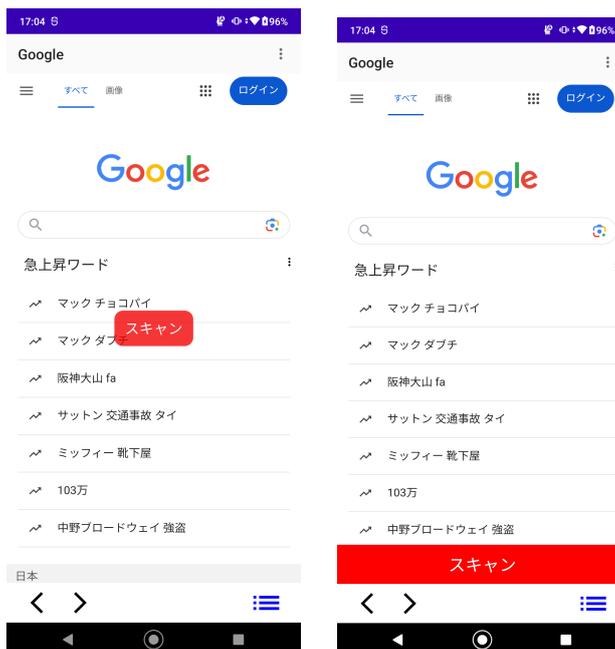


図 2-2-2-2-2 OFF(左図) / ON(右図) 時のスキャンボタンの表示

2.2.2.3 読取バーコード設定

タップすると、読取バーコード設定画面に遷移します。

読取バーコード設定



図 2-2-2-3-1 読取バーコード設定

選択リスト

2D Symbologies: Decode QR Codes、Decode PDF417、MICRO QR、Data Matrix、Maxicode、Aztec

1D Symbologies: Codabar、Code128、Code93、Code39、Code39 Check Digit Verification、EAN-8、EAN-13、EAN Supplemental、UPC-A、UPC-A Preamble、UPC-E、ITF、Japan Postal、PostNet US

GS1 : GS1-128、GS1 DataBar-14、GS1 DataBar Limited、GS1 DataBar Limited Security Level、GS1 DataBar Expanded、Convert GS1 DataBar to UPC/EAN

Composite : Composite CC-C、Composite CC-A/B、Composite TLC-39、UPC Composite Mode、GS1-128 Emulation Mode for UCC/EAN Composite Codes

初期値

2D Symbologies: すべて OFF

1D Symbologies: Code39 Check Digit Verification、EAN Supplemental、UPC-A Preamble
上記以外全て ON

GS1 : GS1-128 のみ ON

Composite : すべて OFF

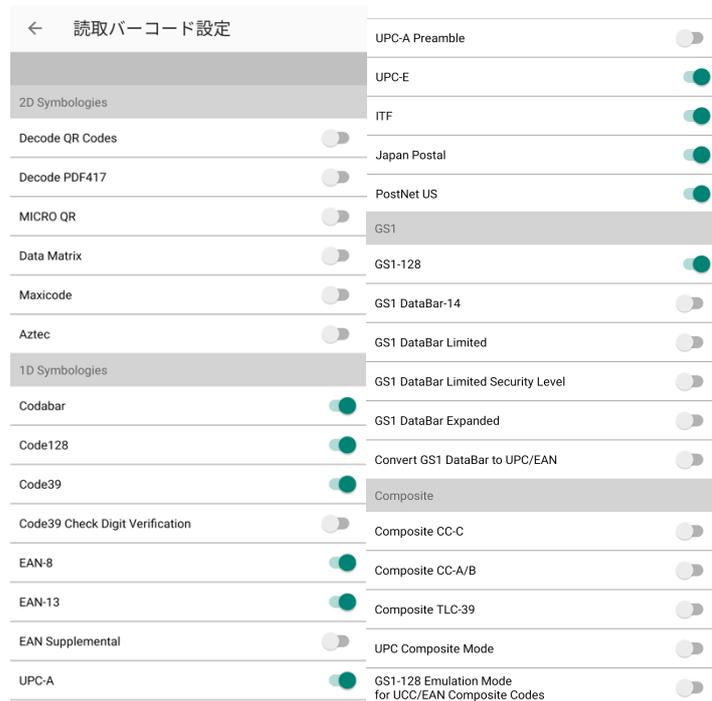


図 2-2-2-3-2 読取バーコード設定画面

2.2.2.4 エンコード

初期値:UTF-8

タップすると、エンコード選択画面に遷移します。



図 2-2-2-4-1 エンコード

選択リスト

UTF-8、Shift-JIS、ASCII、ISO-2022-CN、ISO-2022-CN-EXT、ISO-2022-JP、ISO-2022-JP-1、ISO-2022-JP-2、ISO-2022-KR、ISO-8859-1、ISO-8859-10、ISO8859-13、ISO8859-14、ISO8859-15、ISO8859-2、ISO8859-3、ISO8859-4、ISO8859-5、ISO8859-6、ISO8859-7、ISO8859-8、ISO8859-9

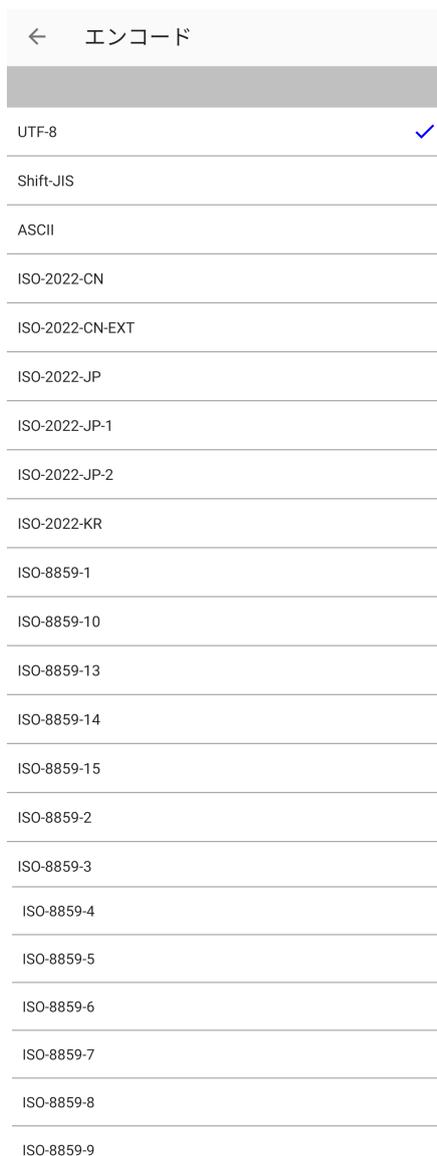


図 2-2-2-4-2 エンコード選択画面

2.2.2.5 バーコード領域の表示

初期値: Off

On にすると、AsCameraX でスキャンした際に読み取ったバーコードの領域が画面上に表示されます。

Off にすると、AsCameraX でスキャンした際に読み取ったバーコードの領域が画面上に表示されません。

バーコード領域の表示



図 2-2-2-5-1 バーコード領域の表示

バーコード領域は以下図のようなイメージで表示される



図 2-2-2-5-2 バーコード領域の表示の例

2.2.2.6 ビープ音

初期値: On

On にする場合、AsCameraX でスキャンした際にビープ音が鳴ります。

Off にする場合、AsCameraX でスキャンした際にビープ音が鳴りません。



図 2-2-2-6-1 ビープ音

2.2.2.7 バイブレーション

初期値: On

On にする場合、AsCameraX でスキャンした際に振動します。

Off にする場合、AsCameraX でスキャンした際に振動しません。



図 2-2-2-7-1 バイブレーション

2.2.2.8 ズーム

初期値: Off

On にすると、AsCameraX のカメラ画面で zoom が可能になる

Off にすると、AsCameraX のカメラ画面で zoom ができません(等倍のみ)



図 2-2-2-8-1 ズーム

カメラ画面で下図のような表示がされるので、赤い点を左右スライドさせるとズームが可能となる。(ズーム可能な最大値は端末によって異なります)

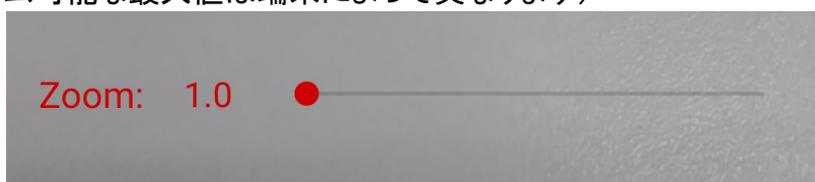


図 2-2-2-8-2 カメラ画面でのズームバーの表示

2.2.2.9 フォーカス

初期値: Off

On にすると、AsCameraX のカメラ画面でフォーカスの変更が可能になる

Off にすると、AsCameraX のカメラ画面でフォーカスが変更できません

フォーカス



図 2-2-2-9-1 フォーカス

カメラ画面で下図のような表示がされるので、赤い点を左右スライドさせるとフォーカスの変更が可能となる。



Focus: 0.0

図 2-2-2-9-2 カメラ画面でのフォーカスバーの表示

2.3 App 設定

App設定	
接続先URL	<input type="text" value="https://google.com/"/>
タイムアウト (10~60)s	<input type="text" value="10"/>
APPのスキャン音 設定	>
AsReaderバッテリー残量表示	<input type="checkbox"/>
ナビゲーションバー	常に表示 >
ホームボタン設定	<input checked="" type="checkbox"/>
リフレッシュボタン設定	<input checked="" type="checkbox"/>
ブックマーク	<input type="checkbox"/>
ボタンで戻る・進む	<input checked="" type="checkbox"/>
キャッシュクリア	オフ >
Launch Mode	<input checked="" type="checkbox"/>
AsReaderスキャンボタン	非表示 >
ユーザーエージェント	>

図 2-3-1 App 設定

2.3.1 接続先 URL

初期値 : <https://www.google.co.jp>

アクセスするターゲットリンク

ここで訪問したいリンクを入力します。

アプリを起動すると、入力した URL にアクセスできます。

接続先URL	<input type="text" value="https://google.com/"/>
--------	--

図 2-3-1-1 接続先 URL

2.3.2 タイムアウト

初期値:10

単位:s

設定範囲:10~60

設定した接続先 URL にアクセスした際のタイムアウト時間です。

タップすると、タイムアウト時間を変更することができます。

※設定範囲外の値を設定するとタイムアウトが設定されません。

タイムアウト (10~60)s

10

図 2-3-2-1 タイムアウト

設定したタイムアウト時間以内にアクセスできなかった場合、エラーが発生します。



図 2-3-2-2 タイムアウトエラー

2.3.3 App のスキャン音 設定



図 2-3-3-1 App のスキャン音 設定

タップすると、App のスキャン音設定画面に遷移します。



図 2-3-3-2 App のスキャン音 設定画面

2.3.3.1 スキャン音

初期値: On

On にする場合、読取した際にスキャン音が鳴ります。

Off にする場合、読取した際にスキャン音が鳴りません。

※AsReader, AsCameraX 側のスキャン音とは別で鳴ります。



図 2-3-3-1-1 スキャン音

2.3.3.2 カスタム音

初期値: Off

On にする場合、読取した際にカスタム音が鳴ります。

Off にする場合、読取した際にカスタム音が鳴りません。

注意: 本機能は本アプリで表示している Web ページ側にカスタム音を追加した場合だけに有効になります。
(設定方法は 7.3 参照)



図 2-3-3-2-1 カスタム音

2.3.3.3 カスタムバイブレーション

初期値: Off

On にする場合、読取した際に振動します。

Off にする場合、読取した際に振動しません。

注意: 本機能は本アプリで表示している Web ページ側にカスタム音を追加した場合だけに有効になります。
(設定方法は 7.4 参照)

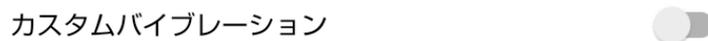


図 2-3-3-3-1 カスタム音

2.3.3.4 通知音設定

初期値:Default1

タップすると、通知音設定選択画面に遷移します。



図 2-3-3-4-1 通知音設定

選択リスト: Beep、Boyon、Japanese Drum1、Japanese Drum2、Trumpet、Ping1、Ping2、Ping3、Children、Default1、Default2

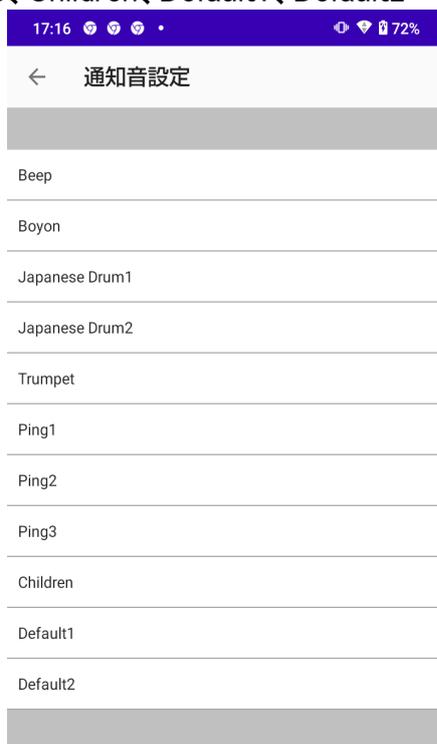


図 2-3-3-4-2 通知音設定選択画面

2.3.4 AsReader バッテリー残量表示

初期値:Off

On の場合、AsReader を接続時に、AsReader のバッテリー残量が表示されます。

Off の場合、AsReader を接続時に、バッテリー残量が表示されません。



図 2-3-4-1 AsReader バッテリー残量表示



図 2-3-4-2 メイン画面でのバッテリー表示

2.3.5 ナビゲーションバー

初期値: 常に表示

タップするとナビゲーションバーの表示の選択画面に遷移します。



図 2-3-5-1 ナビゲーションバー

選択リスト: 常に表示、非表示、スクロール時に表示



図 2-3-5-2 ナビゲーションバーの表示の選択画面

2.3.6 ホームボタン設定

初期値: On

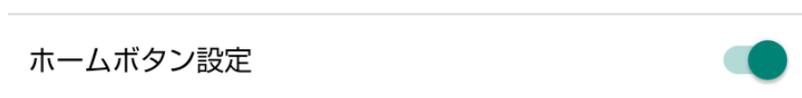


図 2-3-6-1 ホームボタン設定

On の場合、ナビゲーションバーにホームが表示されます。左図の通り。

Off の場合、ナビゲーションバーにホームが表示されません。右図の通り。

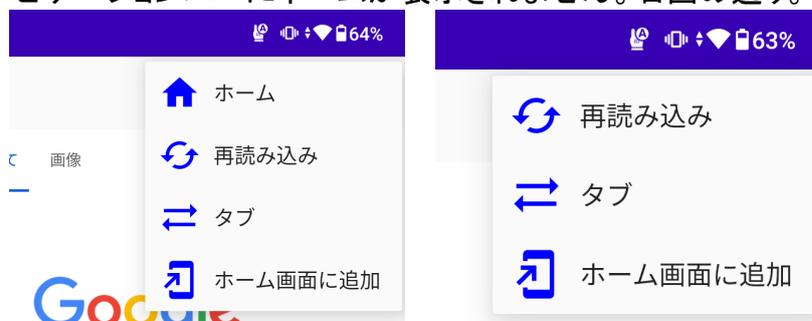


図 2-3-6-2 ホームボタンの表示 / 非表示

2.3.7 リフレッシュボタン設定

初期値: On

リフレッシュボタン設定



図 2-3-7-1 リフレッシュボタン設定

On の場合、ナビゲーションバーに再読み込みが表示されます。左図の通り。
Off の場合、ナビゲーションバーに再読み込みが表示されません。右図の通り。

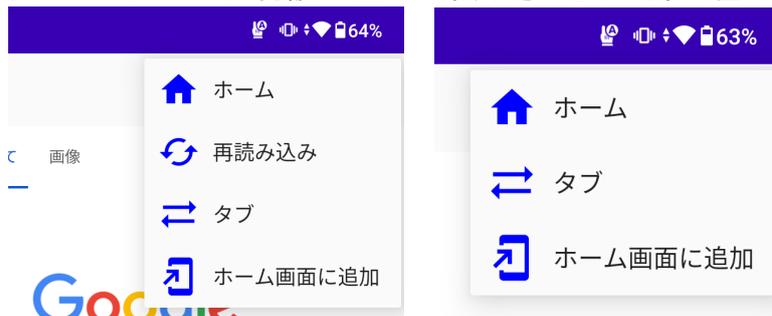


図 2-3-7-2 リフレッシュボタンの表示/非表示

2.3.7 ブックマーク

初期値: Off

ブックマーク



図 2-3-7-1 ブックマーク

On の場合、ブックマーク登録ボタンと一覧ボタンが表示されます。左図の通り。
Off の場合、ブックマーク登録ボタンと一覧ボタンが表示されません。右図の通り。

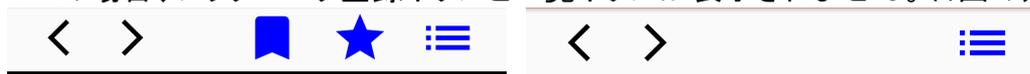


図 2-3-7-2 ブックマーク登録ボタンと一覧ボタンの表示/非表示

2.3.8 ボタンで戻る・進む

初期値: On

ボタンで戻る・進む



図 2-3-8-1 ボタンで戻る・進む

On の場合、「<」「>」ボタンで前ページに戻る・次ページに進むことができます。左図の通り。

Off の場合、「<」「>」ボタンが非表示となります。右図の通り。



図 2-3-8-2 「<」「>」の表示/非表示

2.3.9 キャッシュクリア

初期値:オフ

タップすると、キャッシュクリア選択画面に遷移します。

選択リスト:オフ、一度のみオン、常にオン



図 2-3-9-1 キャッシュクリア

選択リスト:常に表示、非表示、スクロール時に表示



図 2-3-9-2 キャッシュクリア選択画面

オフに設定:キャッシュクリアを行いません。

一度のみオンに設定:アプリを起動すると、キャッシュが自動的にクリアされます。キャッシュクリアを行なった後、自動的にオフが選択されます。

常にオンに設定:アプリを起動するたびにキャッシュクリアを行います。

2.3.10 Launch Mode

初期値: Off



図 2-3-10-1 Launch Mode

On の場合、Android 端末と A24D とを接続させると下図のポップアップが表示されます。A24D へのアクセス許可のポップアップでチェックを入れた状態で OK を押下すると、以降は A24 に接続する度に AsBrowser が立ち上がるようになり、A24D へのアクセス許可のポップアップは表示されません。



図 2-3-10-2 Launch Mode が On の場合のアクセス許可ポップアップ

Off の場合、A24D に接続する度に AsBrowser が立ち上がることはないが、A24D へのアクセス許可のポップアップが必ず表示されるようになります。

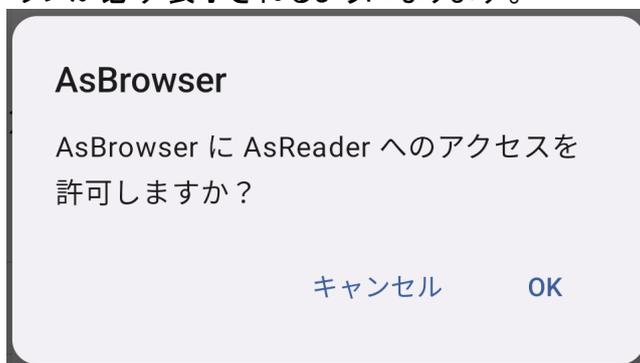


図 2-3-10-3 Launch Mode が Off の場合のアクセス許可ポップアップ

2.3.11 AsReader スキャンボタン

初期値: 非表示

タップすると AsReader スキャンボタンの選択画面に遷移します。



図 2-3-11-1 AsReader スキャンボタン

On の場合、メイン画面上にスキャンボタンが表示されます。

OFF の場合、メイン画面上にスキャンボタンが表示されません。

カスタムの場合、メイン画面上のスキャンボタンの表示/非表示を Web ページ側から制御ができます。制御方法は 5.5.5 を参照。

選択リスト: 常に表示、非表示、カスタム



図 2-3-9-2 AsReader スキャンボタン選択画面



スキャンボタンは左図のようにメイン画面上に表示されます。A24D が接続されている時にスキャンボタンをタップすると、レーザーが照射され、バーコードや QR 等を読むことができます。また、ボタンの表示位置をドラッグすることで自由に動かすことができます。



図 2-3-12-1 ユーザーエージェント

タップするとユーザーエージェント設定画面に遷移します。



図 2-3-12-2 ユーザーエージェント設定画面

初期値: デフォルト

- ・デフォルト: 使用している端末のデフォルトのユーザーエージェントです。
(ご使用の端末やバージョンによって表示が異なります)
- ・ユーザーエージェント編集: タップすると、ユーザーエージェント編集画面に遷移します。

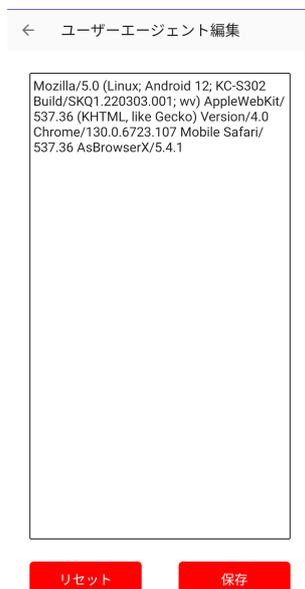


図 2-3-12-3 ユーザーエージェント編集画面

テキストボックスをタップすると、ユーザーエージェントの内容を編集できます。
ユーザーエージェントを編集後に保存ボタンをタップすると、入力内容が保存されます。
リセットボタンをタップすると、デフォルトのユーザーエージェントにリセットされます。

2.4 読取に関する設定



図 2-4-1 読取に関する設定

2.4.1 読取時に古い入力値を上書き

初期値: Off



図 2-4-1-1 読取時古い入力値を上書き

Off にする場合、読取時古い入力値を上書きしません。例えば、古い読取値は ASTERISK、最新読取値は 01234565 の場合、ASTERISK01234565 が表示されます。



図 2-4-1-2「読取時古い入力値を上書き」Off

On にする場合、読取時古い入力値を上書きします。例えば、古い読取値は ASTERISK、最新読取値は 01234565 の場合、01234565 が表示されます。



図 2-4-1-3 「読取時古い入力値を上書き」On

2.4.2 readonly 属性を無視

初期値: Off

テキストボックスの属性は readonly の場合、「readonly 属性を無視」を Off にして、スキャンした後フォーカスは readonly テキストボックスに遷移しません。「readonly 属性を無視」を On にして、スキャンした後、フォーカスは readonly テキストボックスに遷移します。

readonly属性を無視



図 2-4-2-1 readonly 属性を無視

2.4.3 Tab 読取で次項目へ移動

初期値: Off

On の場合、リーダーで読み取った値に” \t ”のようなタブキーが含まれていると、タブキーごとに読み取った値を分割し、分割数分、画面へ反映→フォーカスを次項目へ移動→反映を繰り返す。

Off の場合、リーダーで読み取った値をそのまま反映する。(タブキーが含まれていた場合でもタブキーごと反映される)

Tab読取で次項目へ移動



図 2-4-3-1 Tab 読取で次項目へ移動

2.4.4 読取後の機能

初期値: 次項目へ移動

タップすると、読取後の機能の選択画面に遷移します。

読取後の機能



図 2-4-4-1 読取後の機能

選択リスト: ユーザー処理、次項目へ移動、フォーム送信、Return キー入力、フォーカスを外す、何もしない



図 2-4-4-2 読取後の機能の選択リスト

ユーザー処理: ユーザーが設定したように処理します。

次項目へ移動: 読取後にフォーカスは次のテキストボックスへ移動します。
<https://www.google.com> アカウントを作成することを例として、スキャンする前に、フォーカスは「姓」のテキストボックスにあって、スキャンした後、フォーカスは「名」テキストボックスへ移動します。

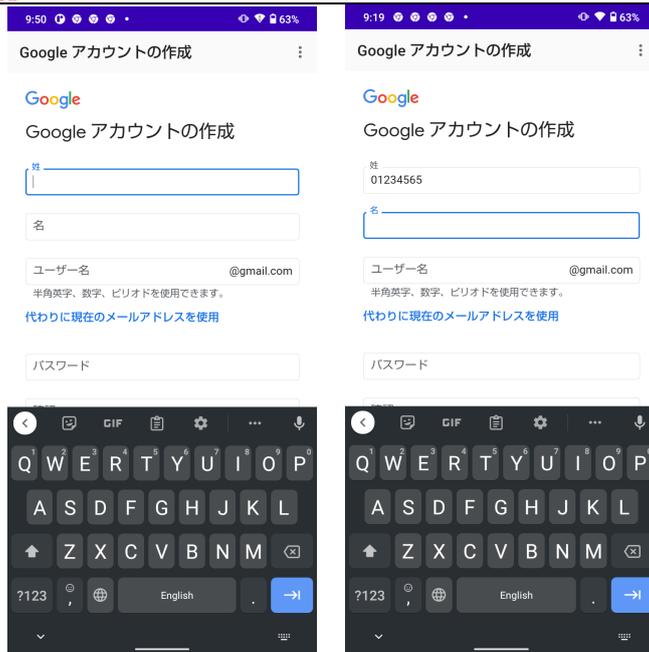


図 2-4-4-3 次項目へ移動

フォーム送信: スキャンされた内容を直接送信できます。

Return キー入力: 内容を入力した後 return キーをタップすると送信します。

フォーカスを外す: 内容を入力した後、フォーカスが消えます。左図の通り。

何もしない: スキャンした内容がそのままテキストボックスに表示され、フォーカス末のところに点滅します。内容は自動送信されません。右図の通り。

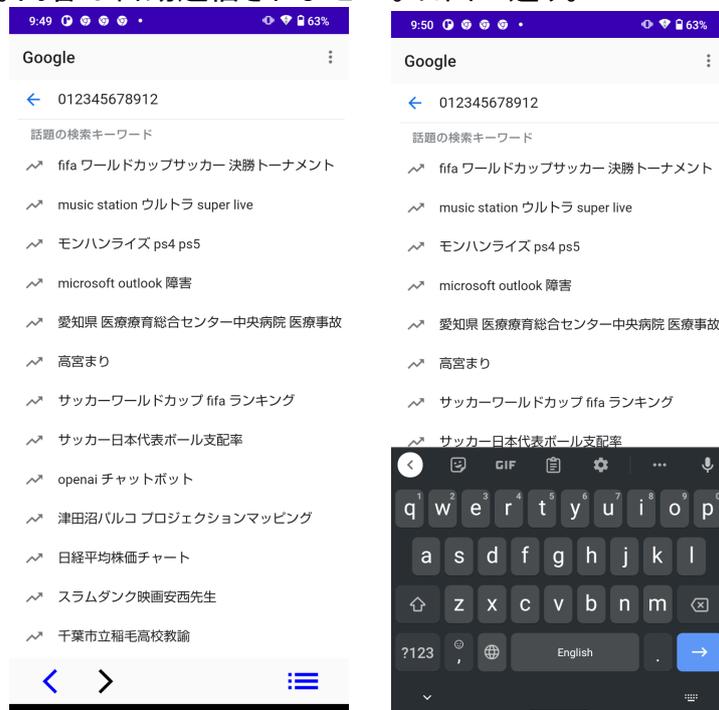


図 2-4-4-4 フォーカスを外す / 何もしない

3 タブ画面

メイン画面で表示する web ページを複数表示することができ、それを管理できる画面です。

メイン画面で表示中のタブは青色で着色されます。



図 3-1 タブ画面

3.1 新しいタブを追加する

右上の「新しいタブ」をタップすると、メイン画面に遷移し、設定画面の接続先 URL に設定されている URL を表示します。

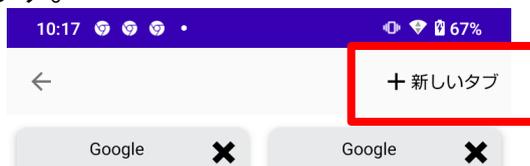


図 3-1-1 新しいタブ

3.2 タブを削除する

削除したいタブを左右どちらかにスワイプします。

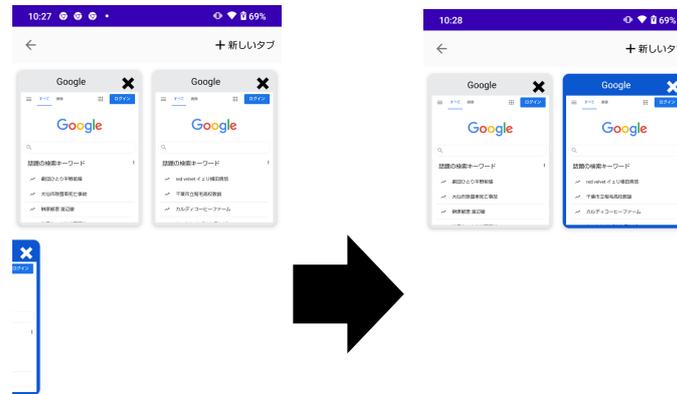


図 3-2-1 スワイプ

もしくは、タブ毎に表示されている✕ボタンを押下します。

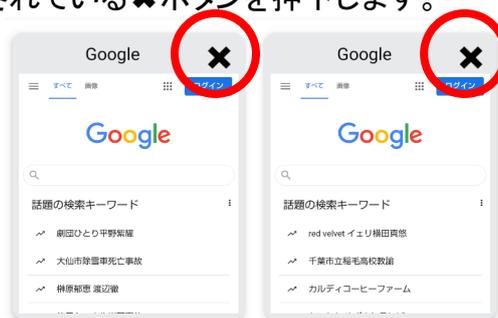


図 3-2-2 ✕ボタン

4 ブックマーク登録画面

Web ページの URL を登録する画面です。

メイン画面の登録ボタン押下時に表示していた Web ページの名前と URL が表示されます。



図 4-1 ブックマーク登録画面

4.1 登録名を編集する

名前欄をタップすると、キーボードが立ち上がり、編集が可能となる。

※Web ページの URL は編集できません。

4.2 ブックマークを登録する

右上の登録ボタンを押下すると、ブックマークを登録できます。

登録が成功すると、自動でメイン画面へ戻ります。

登録したブックマークは、ブックマーク一覧画面で確認できます。

5 ブックマーク一覧画面

登録されたブックマークを一覧表示する画面です。



図 5-1 ブックマーク一覧画面

5.1 登録されたブックマークをメイン画面に表示する

表示したいブックマークをタップすると、メイン画面に戻り、タップされたブックマークの URL のページが表示されます。

5.2 ブックマークの登録名を編集する

編集したいブックマークを左へスワイプすると、編集ボタンが表示されますのでそれをタップすると、ブックマーク編集画面へ遷移します。



図 5-2-1 ブックマークを左へスワイプ

5.2.1 ブックマーク編集画面

ブックマーク登録画面同様に、名前欄をタップすることで、編集が可能となる。右上の登録ボタンを押下すると、編集内容が保存され、ブックマーク一覧画面へ戻ります。

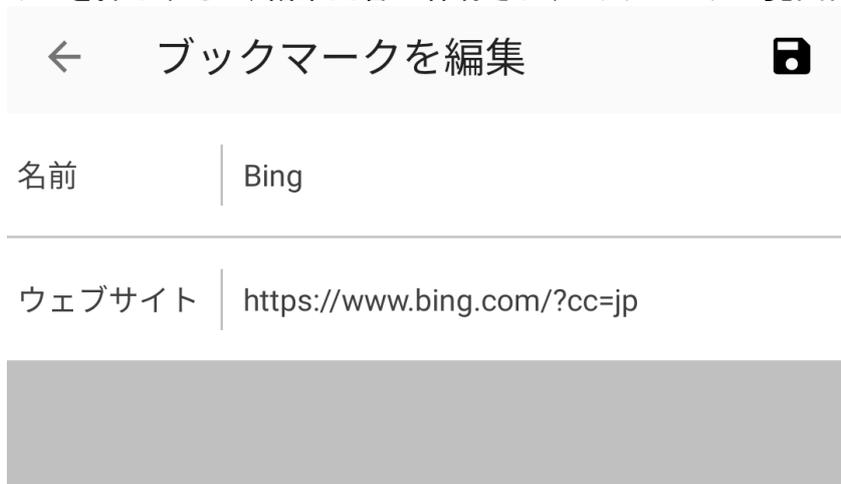


図 5-2-1-1 ブックマーク編集画面

5.3 ブックマークを削除する

削除したいブックマークを左へスワイプすると、削除ボタンが表示されますのでそれをタップすると、一覧からブックマークを削除できる。



図 5-3-1 ブックマークを左へスワイプ

6 カメラ画面

メイン画面のスキャンボタンを押下した際に表示されるカメラ画面に関する仕様です。
※スキャンボタンの表示については 2.2.2.1 を参照



図 6-1 カメラ画面

6.1 「<」ボタン

カメラでの読取処理が停止し、カメラ画面を閉じる。

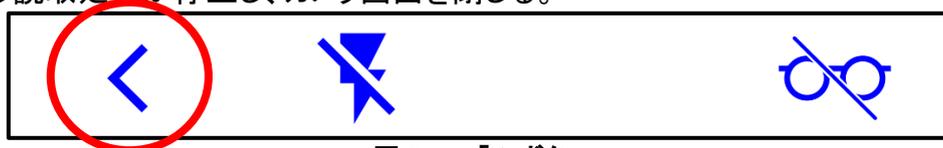


図 6-1-1「<」ボタン

6.2 フラッシュボタン

タップすると、フラッシュの On / Off を切り替えられます。

初期値: Off

Off の場合、フラッシュを発行しません。(左図)

On の場合、常にフラッシュを発行します。(右図)



図 6-2-1 フラッシュボタン Off / On

6.3 解像度切り替えボタン

タップすると、カメラ画面の解像度を切り替えられます。

切り替えられる解像度は、端末がサポートしている 16:9 の比率のものとなります。

解像度を上げることによって、より遠くにあるバーコード等を読むことができますが、読み取れる範囲が狭くなります。

初期値: 1280 * 720

現在適用されている解像度は画面右上とボタンの下に表示されます。

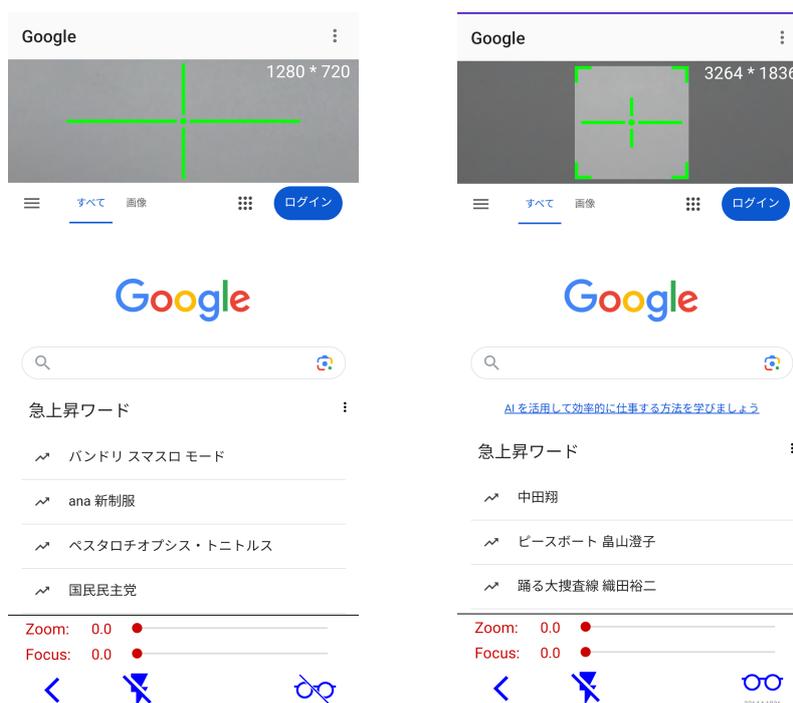


図 6-3-1 解像度切り替えボタン Off / On

7 通信仕様

以下は、AsBrowser と AsBrowser で表示している Web ページとで通信できるように用意している仕様です。

7.1 AsReader スキャンボタン

設定にある AsReader スキャンボタンにて”カスタム”を選択している場合、Web 画面側からスキャンボタンの表示/非表示を制御することが可能。

任意のタイミングで、以下の JavaScript を実行する

○表示

```
AsBrowser.changeAsReaderScanButtonVisible(true);
```

○非表示

```
AsBrowser.changeAsReaderScanButtonVisible(false);
```

7.2 設定画面の開いた/閉じたの通知

以下の JavaScript を実装いただくと、AsBrowser からの通知を受け取れるようになります。

```
function displaySettingView(isOpen) {  
}
```

引数の”isOpen”には、設定画面を開いた時には”true”、閉じた時には”false”が入ります。

7.3 カスタム音

設定にある”カスタム音”にて ON を選択している場合、Web 画面側から任意の音声を流すことが可能。任意のタイミングで、以下の JavaScript を実行する

```
AsBrowser.playSound(“https://example.com/sample.mp3”);
```

※引数に直接音声の URL を設定してください。

7.4 カスタムバイブレーション

設定にある”カスタムバイブレーション”にて ON を選択している場合、Web 画面側から任意のタイミングで以下の JavaScript を実行するとバイブレーションを再生することが可能。

```
AsBrowser.playVibrate();
```

7.5 カメラ画面の表示/非表示の制御

“AsCameraX 設定”内にある”スキャンボタンの表示”を ON に選択している場合、Web 画面側から任意のタイミングで以下の JavaScript を実行すると、カメラ画面の表示・非表示を制御することが可能。

```
AsBrowser.openAsCameraX(Boolean);
```

Boolean が true の場合カメラ画面表示、false の場合カメラ画面非表示、となります。
※カメラが起動中に true を、未起動中に false を引数で上記 JavaScript を実行した場合は処理が無視されます。